「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間2020 アンケート集計結果



令和3年3月 亀山市社会教育委員会 亀山市教育委員会

目 次

「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間 2020 の取組について	2
「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間に係るアンケート	3
「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間 2020 アンケート集計	
・問1:「かめやまお茶の間10選(実践)」に取り組みましたか	5
・問2:どのテーマに取り組みましたか	6
・問4:取り組んで良かったことは何ですか	7
・問5:強化期間中、話題になったことはどんなことですか	8
「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間 2020 取組事例	
・問3:取り組んだ内容を具体的にお答えください	9
・問4:取り組んで良かったことは何ですか(その他)	1 3
・問5:強化期間中、話題になったことはどんなことですか(その他)	1 4
・問6:強化期間中のお子様はどんな様子でしたか	1 5
・問7:「家族っていいな」と感じるのはどんな時ですか	1 8
「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間 2020 アンケート集計 まとめ	2 2

「かめやまお茶の間 10 選 (実践)」強化週間 2020 の取組について

【取組の背景】

亀山市社会教育委員会では、令和元年6月に「かめやまお茶の間10選(実践)」を策定し、同月22日、市内の保護者・教職員・地域の方が集まる、亀山市PTA連合会が開催する「教育を語り合う会」でのお披露目をはじめ、これまで、子育て家庭を中心に、幅広く啓発活動を行ってきました。

令和2年、新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、園や学校の休園・休校や在宅勤務の推 奨等により、外出を控え、自宅で過ごす時間が長くなり、家庭での過ごし方が益々重要となってきました。

そのような情勢の中、社会教育委員会の場でも、「こういう時だからこそ、より意識して、 家族みんなで『かめやまお茶の間10選(実践)』に取り組む必要がある」との意見でまと まり、強化週間を設定することや具体的な取組方法について確認されました。

【取組の目的】

強化週間を設定し、各家庭で、それぞれの実情に合わせ、改めて家族みんなで、「かめやまお茶の間 10 選 (実践)」を意識しながら、家族の時間をより大切にした一週間を過ごしていただくとともに、アンケートを実施し、強化週間中における具体的な実践内容や効果等を把握・検証・周知することにより、「かめやまお茶の間 10 選 (実践)」のさらなる浸透・定着を図る。

【強化週間の期間】

令和2年10月24日(十)~10月30日(金)の一週間

【アンケート依頼対象者】

各幼稚園、保育園、認定こども園の年長児の保護者

各小学校3・5年生、中学校2年生の保護者

※全 1858 枚配布(年長: 456、小3: 477、小5: 505、中2: 420)

【アンケート回収数(率)】

全1400枚(75.35%)

※年長:352 (77.19%) 小3:397 (83.23%)小5:409 (80.99%) 中2:242 (57.62%)

「かめやまお茶の間10選(実践)」強化週間に係るアンケート

問	1	「かめやま	お茶の間	1 ()張	(宝珠)」	に取り	組みす	したか
1147	1.	1/2/1/2/1	40.212 c 2 [H]	т ,	J 125	()	(-4)	かり	

1. 取り組んだ

- 2. どちらかというと取り組んだ
- 3. どちらかというと取り組まなかった 4. 取り組まなかった

間2. どのテーマに取り組みましたか。(複数回答可)

- 3. 夢への一歩 家族の力

- 1. あいさつは家族をつなぐ愛言葉 2. 豊かな体験 豊かな心 家族で経験
 - 4. テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん
- 5. つくって守ろう 家族のきまり 6. 本開く こころを紡ぐ この出会い
- 7. しっかり食べて つくろうカラダ
 8. 家族でつくろう ハッピーリズム

 9. 支えあう家族 尊い家族
 10. お茶の間で伝えよう 感謝の気持ち
- 問3. 取り組んだ内容を具体的にお答えください。

(複数ある場合は、お手数ですが全てお書きください。)

- (例)・「○○さん、行ってきます。」とか「○○さん、ありがとう。」というように、必ず 最初に相手の名前を入れてあいさつした。
 - ・夕食の時、家族が順番に1日の出来事を話す時間を設けた。
 - 毎日、読書タイムを設け、読んで印象に残ったことを話し合った。

- 間4. 取り組んでよかったことは何ですか。(複数回答可)
 - 1. あいさつが増えた
 - 3. 家族と一緒にいる時間が増えた 4. 運動する時間が増えた
 - 5. きまりが守れるようになった

 - 9. その他

(

- 2. 家族との会話が増えた
- 6. 読書の時間が増えた
- 7. 規則正しい生活ができた 8. 好き嫌いせずに食事ができた

問5. 強化期間中、話題になったことはどんなことですか。(複数回答可)

- 1. 家族のこと 2. 地域のこと 3. 学校のこと 4. 勉強のこと

)

)

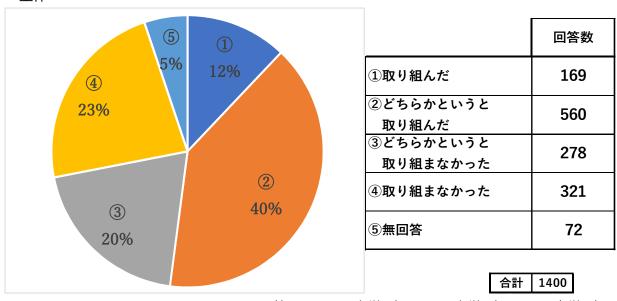
- 5. 友だちのこと
- 6. 最近の出来事 7. テレビや新聞のこと
- 8. その他(

問 6. 強化期間中のお子様はどんな様子でしたか。	
(具体的なエピソード等がありましたら、あわせてお書きください。)	
	,
問7.「家族っていいな。」と感じるのはどんな時ですか。	

「かめやまお茶の間 10 選(実践)」強化週間 2020 アンケート集計

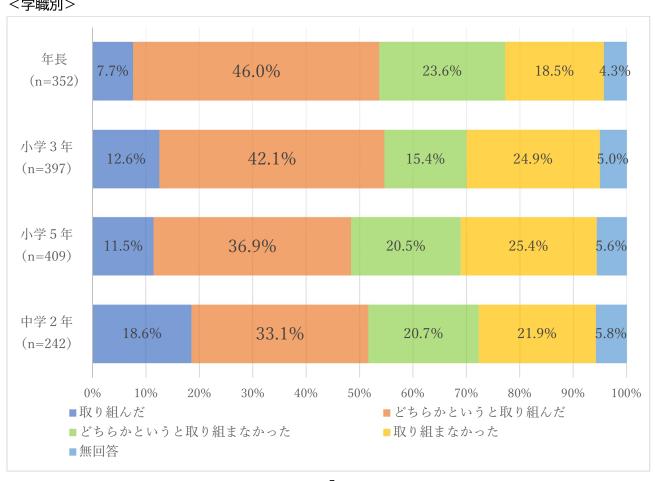
問1「かまやまお茶の間10選(実践)」に取り組みましたか。

<全体>

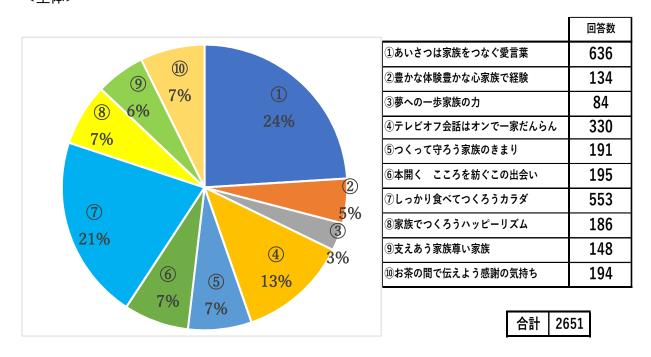


(年長:352、小学3年:397、小学5年:409、中学2年:242)

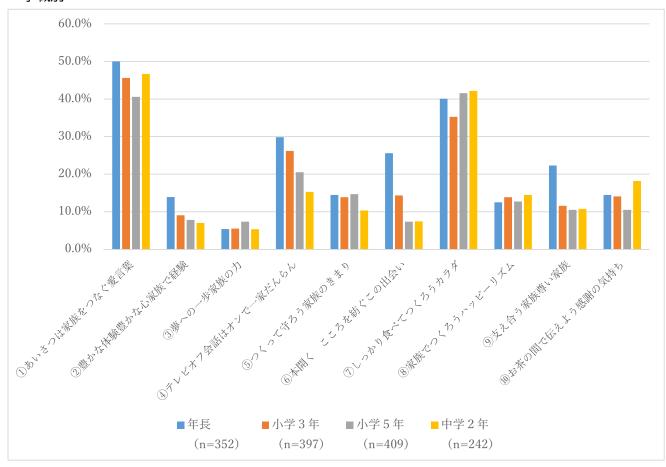
<学職別>



問2 どのテーマに取り組みましたか。(複数回答可) <全体>

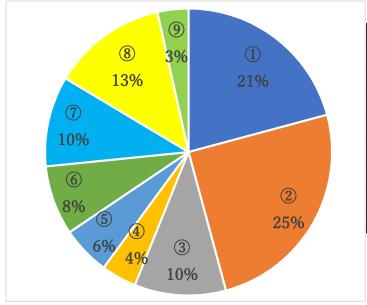


<学職別>



問4 取り組んで良かったことは何ですか。(複数回答可)

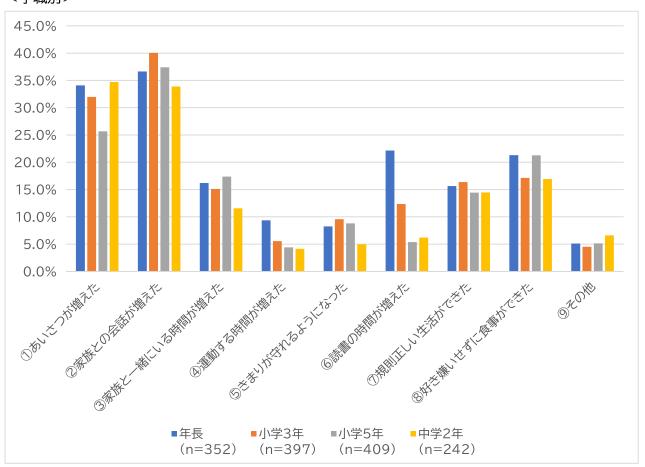
<全体>



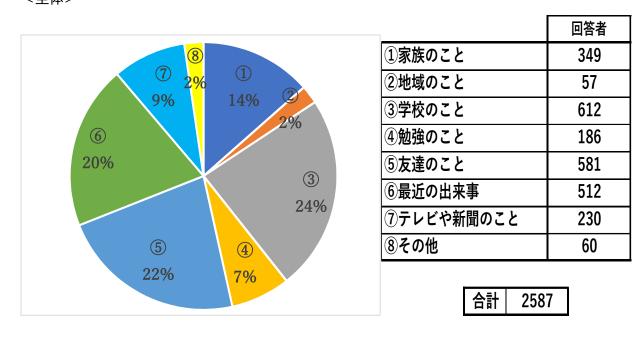
	回答数
①あいさつが増えた	436
②家族との会話が増えた	523
③家族と一緒にいる時間が増えた	216
④運動する時間が増えた	83
⑤決まりが守れるようになった	115
⑥読書の時間が増えた	164
⑦規則正しい生活ができた	213
⑧好き嫌いせずに食事ができた	271
9その他	73

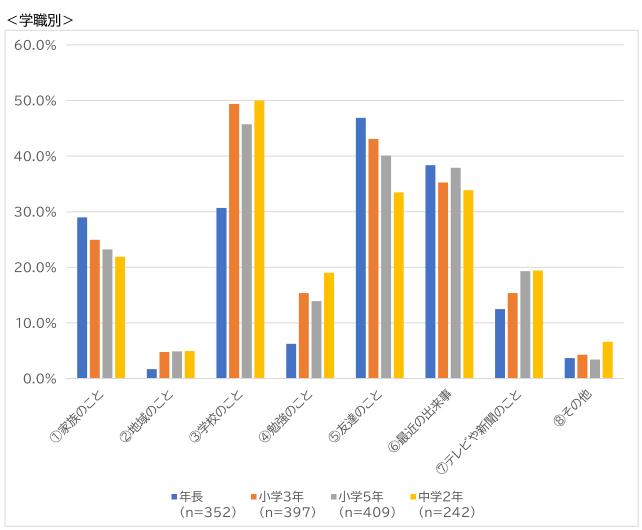
合計 1658

<学職別>



問 5 強化期間中、話題になったことはどんなことですか。(複数回答可) <全体>





「かめやまお茶の間10選(実践)|強化週間2020 取組事例

問3:取り組んだ内容を具体的にお答えください

【年長】

- ・「おはよう」「行ってきます」「ただ今」「お帰り」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみ」「ありがとう」「ごめんね」など、家族で交わすあいさつにはどんなものがあるか話し合い、家族で意識して取り組むようにした
- ・家族のきまりにしていくことをあげて、紙に書いて貼り、見るようにした
- なるべくテレビをつけずに過ごして、制作やお絵かきなどで遊ぶようにしました
- 手作りの食事を心がけ、体作りを意識して、栄養バランスなども考えた
- ・子どもと一緒に、早い時間に布団に入って寝るリズムを作っている
- ・夕食の時、おしゃべりせずに食べる習慣をつけていましたが、話しながら食べると、食事 が終わるのに時間がかかるけれど、ゆっくりとした時間ができた
- ・自然に触れ合えるように、森の中をハイキングして、いろいろなことを一緒に見て話した
- ・帰宅後、手洗い・うがいの後着替えをし、夕食後に毎日の勉強の時間を設け、その後に遊ぶ時間という流れ(ルール)を作り、毎日行うことができた
- 子どもの夢を聞くなどした
- ・1日、1~2冊本を読み、お互いの感想を言い合った
- ・テレビは無駄につけることなく、会話の時間を多くとった
- ・季節の食材をたくさん使った料理を作って、みんなでその話をしながら食べた
- ・近所の人とすれ違う時、両親がより意識してあいさつをしました
- ・毎日読み聞かせをしたり、子どもに音読してもらったりする時間を設けた
- ・休日に早起きして、お父さんの海釣りにみんなで行きました (3回ほど)。砂浜で遊び、 家族の会話も増え、良いこと尽くしでした
- ・食事の時に、赤(肉)緑(野菜)黄(ごはん)のグループにどれが入るかクイズをして、 全部食べる大切さを確認した
- ・子どもと一緒に、テレビとゲームの時間のルールを考えて、時間を超えないようにした。 テレビ、ゲーム以外は、話したり本を読んだりするようにした
- 親が進んで挨拶をした。手本となるようにした
- ・メニューは、家族の好きなものばかりでなく、苦手な物も入れ、なるべく食べやすいよう にした。また、苦手な物でも必ず1口は食べるよう促した
- ・ある程度片づけてから私も食事をとっていましたが、それを後回しにし、一緒に食事をするようにしました
- ・挨拶する時は相手の目を見て、最初に名前を付けて言うようにした
- ・出かける前、寝る前は、おもちゃなど部屋の片づけをする
- ・何をする時も、必ず目を見て話すのを心掛けました。自分の話を聞いてくれる、自分を見ていてくれると、子どもは安心していることが分かります
- なるべく1つの部屋で過ごす
- ・「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」「ごめんね」など、今、当たり前のことができる子が少ない気がします。うちでは、いろんなことをすぐ取り込むのは難しいと思い、挨拶や 感謝をしっかり言えるよう、回数を増やすことにしました
- ・絵本が好きなので、子どもに絵本を読んであげたり、子どもが「読むから聞いて」という

ので聞いたりして楽しみました

- ・夕飯中に TV を消してお茶の間の俳句を読み上げ、みんなでほのぼのと笑う時間が作れた
- ・共働き、子ども4人のため忙しいのですが、自分の家で出来ることや役割を考えて行動することにしていた
- 子どもの夢をたくさん聞いた
- ・夕食時、楽しかった事、残念だったこと、面白かったこと、何でも1つはその日の事を話して、どう思ったかを聞いた
- ・週末の夜に、みんなでテレビゲームではなく、ボードゲームをして楽しんだ
- ・ハロウィンにちなんだお菓子を、みんなで手づくりして食べた
- ・毎日、テレビを消して家族で本を読む時間をつくり、読み終わった本の内容を話しました
- ・なりたいものやできるようになりたいことなどを聞き、そのためには何をしたらいいか等 を、普段の会話で話すようにした

【小3】

- ・夕ごはんで食べた野菜に、どんな栄養、効能があるかを家族で考えた
- ・週末に、子どもとバトミントン、キャッチボールをして、コミュニケーションをとった
- ・朝、夕食時はテレビを消し、夕食はそろって食べ始めるようにした。今日の一番楽しかった事、悲しかった事、うれしかった事、怒った事を言い合った
- 毎日、朝と夜に相手の顔を見て挨拶するようにした
- ・小さな事でも「ありがとう」や「どうも」と、感謝を言葉にして伝えるようにしました
- ・嫌いな食べ物を食べられるよう、細かくきざんで食卓に出すことにした
- ・寝る前に、物語を一緒に読みました。内容について感想を話したり、次の日に読む物語を 一緒に選んだりして楽しかったです
- ・親も子どもと話すときは、携帯から手を放してきちんと話を聞いた
- ・普段から、毎日、相手の名前を入れて挨拶したり、ゲーム・就寝時間・お手伝い・家族の きまりを作ったりして、生活リズムを作っています
- 季節の食材をたくさん使った料理を作って、みんなでその話をしながら食べた
- あいさつの後に、一言しゃべるようにした
- ・夢、目標を話し合っている
- ・子どもと一緒にご飯を作ったり、お手伝いをしてもらったりする中で、いろんな話ができるようにした
- ・夕食は、家族そろって食事をすることが難しいので、朝食は、家族そろって食事をするように心がけた
- 「ありがとう」「ごめんなさい」の大切さ、感謝の気持ちを伝える
- ・家族一人一人の役割を意識して、支え合う気持ちを持つように心がけた
- ・"星まつり"で月・火星・木星・土星を見に家族で参加した
- ・毎日朝の散歩やランニングをし、今も継続している
- ・散歩している時に、会った人にあいさつをするように心がけた
- ・テレビを見ずに会話をした。一人一人、今日の出来事を話した。みんながそれについて一 言言った
- 家族だけのお当番表を作って家事を分担した
- ・相手の顔を見て挨拶などをしました。感謝の気持ちを伝えあうことでお互いハッピーにな りました
- ・毎日読書タイムを作り、感想を言い合った。図書館に本を借りに行くようになった

- ・週末に、テレビ、ゲームばかりしないようにと、外で出来ることを考え、みんながやりた かった釣りに出かけるようになって、一緒に体験したり会話が増えたりした
- ・子どもの話を遮らない。子どもが話し出した時は、手を止めて聞くようにした
- ・家族が助け合って気持ちよく生活できるよう、学校から帰って来てすることを約束した
- ・朝10分早く起こして朝ごはんをバランスよく食べ、トイレへ行くという時間を作り、朝の支度に余裕ができてゆったり話ができた
- ・テレビ、ゲームを完全に絶ち、いつもならテレビ、ゲームの時間だったのを、読書や家族 との会話の時間に置き換えることができた
- ・強化週間に入る頃に、ペットを飼うことになりました。家族で命を育てることを体験しています。会話が増えました
- ・「おはよう」「いってきます」「ただいま」「おかえり」「いただきます」「ありがとう」「ごめんね」など、家族の間で交わされるあいさつを、娘・息子たちとどんなものがあるかなと話し合い、両親ともに意識して子どもたちとあいさつを交わすようにした
- ・自分のやりたいこと、「近い未来」をごはんの時に話する。家族みんなでそれを応援する

【小5】

- ・共働きのため、子どもと話す時間も少なかったが、一緒に入浴することにし、入浴時に一 日の出来事など話すことにした
- ・家事など、家族で役割分担をしてルールを作って行う事にした。担当を決めたが、お互い に助け合うこともルールとして決めた
- ・よく噛んで食べて、栄養バランスに気をつけた献立にした。食べる時には栄養の話をし、 よく噛んで食べる、残さず食べることを決めて取り組んだ
- ・本は、私(母)がとても好きで、図書館で児童書のシリーズやこれは気にいるかな?と思う本を数冊、小さいころから借りてきて親子で読み合っています。兄と読み合っていたシリーズが終わっていなくて、新刊を借りてきて末の子が気に入って一巻からまた読むということもありました
- ・家でできる家事(お風呂掃除、皿洗い、選択物干し、取り込み、愛犬の散歩)を家族で分担 して当番表を作った
- ・夕食の時はテレビオフ。夕食後もお茶を飲んだり季節のフルーツを食べたりしながら、1 日の出来事を話す時間を1週間に何日か設けた
- ・相手の名前を入れて、気持ちの良い挨拶ができるよう心掛けた
- 毎晩「ハッピーニュース」といって、一人ずつその日の自分の出来事を発表するということをしました。
- ・「おはよう」「いってきます」「ただいま」を、相手の顔を見て挨拶した
- ・心も体も健康でいられるように、栄養に気をつけた。出来るだけ手作りのおかずと、1日 あった出来事、何気ないことを話して、お互いにあったことを知り一緒に過ごせなかった 時間も話すことで共有して楽しみました
- ・食事中はテレビを切り、家族でワイワイ話しながら(1日の出来事など)頂きました。お野菜、お肉…バランスの取れた食事に気をつけたたくさん食べた後は、ちょっとストレッチ体操をしました
- ・特に野菜嫌いなので、味つけ・調理法を工夫し、少しでも多く食べてもらえるようにした
- ・天気の良い時は、休みの日に山へ登ったり家族で運動したりした
- ・伝えたい人の名前を言ってから、伝えたいことを言うようにした
- ・食事の時に、自分の夢について話し合った

- ・家族間であっても「ありがとう」「お願いします」等しっかりと伝わるように合言葉として心がけました
- ・テレビ、ゲームの時間や家の手伝い等のルールの見直しや役割分担をした
- ・料理を一緒に作りました。どんな栄養になるのか話しながら作りました。嫌いな野菜も自分で切って作ったので食べました
- ・毎日決まった時間(夕食後)に、体を鍛えるストレッチを行った
- ・朝から晩まで、1日の間、必ずあいさつをしました。どんなに機嫌が悪くても、必ず「おはよう」「ごちそうさま」など取り組みました。「ご飯おいしかった」「お茶ありがとう」と、子どもから伝えてくれて嬉しかったです。大人も「食器運んでくれてありがとう」「おいしいと言ってくれてうれしい」など、きちんと伝えました
- ・どれだけ忙しくても笑顔を見せる、手料理を作る、子どもたちの身の周りの世話を怠らないことで、愛情を分かりやすく伝えるようにした
- ・夢を持つことは大事なことで、自分を大きく成長してくれるものと教えた
- ・食育について、家族で話し取り組みました。サッカーをしていることもあり、筋力・集中力・瞬発力など、1つ1つのメニューや食材に目を向けていくことができ、食事中の会話も弾み、苦手な物も食べようとする姿も見ることができた
- ・いつも以上に相手の顔を見て、相手に聞こえるように大きな声ではっきりと挨拶するよう に心がけた
- ・毎朝、お兄ちゃんのお弁当を作る時に、卵焼きを焼いてくれた
- ・挨拶をしなかったことを注意するのではなく、こちらから挨拶をするよう心掛けた

[+2]

- 「ありがとう」はもちろん、親でも子でも謝る時は素直に「ごめんなさい」!!
- ・家で作った野菜や旬の食材を使用して料理をしました。食後はウォーキングをして、健康 づくりに取り組みました
- ・夕食時、順番を決めて話をする。不自然な感じではなく、楽しい夕食。「食事美味しいね え」「そういえば今日さあ」と自然に話がはずんでいたように思う
- ・どんなに忙しくても、朝ごはんを食べながら話したり、帰ってからも、ごはんを一緒に食べたり、子どもと一緒にお風呂に入って話したりするようにしている
- ・土・日・水の寝る前に、読書タイムを設け、それぞれ好きな本を同じ部屋で読んだ
- ・近所を家族と散歩したり、家族そろって亀山茶を飲んだりしました。普段は、食事の時に ジュースを飲むこともあるため、見直すいい機会となりました
- ・朝、昼、夕食を、苦手な物も食べられるようにした。朝はなかなかご飯が食べにくいので、 少し早めに起きるなどした
- 何事に対しても、誰にでも、「どーも」ではなく、「ありがとう」を心がけた
- ・話をする時は、携帯を見ずに相手を見て話す
- ・寝る前に自分が使った物を片付けて、リビングに物を置かないという家族のきまりをつく りました
- ・進路について、子どもの考えを聞き応援をする
- ・食事を出した時、5大栄養素を意識して出していることを伝え「これはタンパク質」「乳製品ある!」「炭水化物はこれとこれ」など言葉に出しながら話をし、「食べることは生きること。食べ物が血となり肉となりあなたたちを支え生かしてくれる。命あるものを頂くことに感謝して食べようね」と会話しました
- ・起床時、就寝時、帰宅時などの日々の挨拶をきちんとするように心がけました。情勢的に

遠出はできませんが、外出はできるだけ家族そろって、ちょっとした買い物なども一緒に 行くようにしました

- ・家族で助け合うことを目標にして役割分担を決めた
- ・毎日少しでも本を読む時間を作った。自分で好きな本を選んだ
- ・食事をする時は、携帯や TV を見ないようにすることで、学校での話をしてくれたりする ことが多くなりました
- ・家族一人一人必ず顔を見て挨拶するようにした
- ・介護が必要な祖母のサポートや、家事は母の仕事だけではなく、家族の仕事であることの 再確認ができた
- 子どもの夢について話した

問4:取り組んでよかったことは何ですか(その他)

【年長】

- ・毎日継続することで、自分から勉強の準備をして、しようとする意欲的な姿勢が見られた
- ・気分によってご飯を食べる量が変わる子どもたちですが、いつもより多く食べられた気が します(好き嫌いは特にない)
- ・食事が少し自主的に進んだ
- ・3兄妹で「貸してくれてありがとう」など、口に出すことで守れるようになりました
- ・食べ物に興味を持ってくれた
- 進んでお手伝いをしてくれるようになった
- みんなが楽しく夕飯を食べられた
- 会話すると、夕食がダラダラせずに済んだ
- ・自分の言葉で話をするという第一歩につながったと思います

[小3]

- ・学校生活の様子が分かるようになった
- ・笑顔が絶えません
- ・コミュニケーションの大切さを再認識しました。
- 会話が増えた。
- ・子どもが、自ら TV をオフにする習慣が身についた
- 初めて、みんなで夜空を見ながら、星の話ができました
- ・食わず嫌いなものも、少し食べられた
- ・普段からできている事ですが、より出来るようになった
- 子どもが読書好きだということを知った
- ・今までと違った話題を話した
- ・「ありがとう」の言葉が増えることで、笑顔が多くなった。「~がイヤ」が少し減った
- ・普段から、意識しなくても「お茶の間10選」が自然に行えていることが分かった

【小5】

- ・無口な子が、ちょっとだけ話すようになりました
- ・笑顔が増えた、機嫌がよくなった
- ・皆が楽しく夕飯を食べられた
- ・家族の絆を再確認できた

- ・少し体重が増加した。健康的な体づくりができている
- ・テレビを見ないだけで、こんなに会話ができるんだなと改めて感じた
- きまりについて意識するようになった

【中2】

- ・栄養素について考えることができた。
- ・苦手な物も「自分の身体が作られるために食べるんだ」と、意識を持って食べることが、 少しずつですが、できるようになってきたと思います
- ・食べすぎないようになった
- ・私自身体調が悪い時があるので、手助けしてもらいました
- ・夕食の時、TV を消して1日の出来事を話してもらった
- ・普段より挨拶を意識していた
- ・読書することによって、感性がはぐくまれ、世界観が少しずつ広がった
- ・祖母のことを、前より気にかけてくれるようになった

問5:強化期間中、話題になったことはどんなことですか(その他)

【年長】

- ・これからのこと
- ・アニメ
- 幼稚園のこと
- ・保育園であったこと

【小3】

- ・今まで読んだ本のこと
- ・食事中の会話
- 1日の出来事など
- 本で読んで学んだこと
- ・食べている料理の事
- コロナ
- ・お茶の入れ方、かぶせ茶の名前について

【小5】

- ・遊びのこと
- ・ペットのこと
- ・家族の誰かが入院した場合の事

【中2】

- ・毎日の出来事、全般全て
- 部活のこと
- 習い事
- ・鬼滅の刃
- ・ 自宅の事
- ・ペットの話題
- 野球

問6:強化期間中のお子様はどんな様子でしたか

【年長】

- ・読書の時間を増やしたら、簡単な本が1人で読めるようになり、自信がついた様子だった
- ・テレビやゲームをしていても、自ら「ママ、お勉強!!」と言って、ノートを持ってきて 取り組んでいます。また、早寝・早起きをすることで、来年小学生になる自覚もできたよ うに感じます
- ・朝から元気よく挨拶をして、普段よりもたくさんいろんな話をしていたように思います。 あいさつ、「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から積極的に言ってすごいなっと思いま した。強化期間終がわってからも、自分から話し続けていってほしいものです
- ・普段より、家族みんなで触れ合う機会が増え、とても楽しそうで嬉しそうでした
- ・「保育園で何が楽しかった?」と聞くと、「ブランコ」や「レゴ」と答えてくれた。毎朝自分から「おはよう」と言って起きた。寝る時も「おやすみ~」と言って布団に入った。毎日同じ絵本を読み、絵本と一緒の顔をして笑い合ったり、「僕はこれがいい、お母さんは?」と絵本を通して会話ができたりした
- ・勉強する時間、起きる時間など、時計を見ながら行動できるようになりました
- ・友だち関係について相談してくれたり、仲良くできた話をしてくれたりした。話してくれることにより、本人の気持ちが分かれてよかったです
- ・TVを見ながら食事をしていたのが、期間中、自らTVを消してご飯を食べるようになった。食べている時間が大幅に減り、自信につながった様子
- ・友だちと海に行って、思いっきり遊びました。天気もよくあたたかくて、服を濡らしても へっちゃら。友だちとのあいさつも「ありがとう」も「バイバイ」も100点でした
- ・楽しそうに過ごせたようです。子どもよりも、親が変われば子も変わるといった感じがしました。大人の勝手で子と関わる時間がなかなか持てず、淋しい思いを普段させていると感じました
- ・妹の世話を進んでしていた(食事の前にイスにすわるお手伝い、「OOちゃん、こんな風にするんだよ」と言って、食べる時等お手本を見せていた)。していいこと、だめなことを妹に教えている時、ほほえましかった
- ・苦手な食べ物も、頑張って挑戦して食べられるようになりました。好き嫌いが多く、食の細い子ですが「残さずよく噛んで食べるんやったな!」と頑張って食べるようになって、量も食べるようになったので、心配だった小学校の給食も何とかなるかも?と希望を持つことができました
- ・お気に入りの絵本ができて、その中の登場人物を、お絵かきの時間に一生懸命書いて楽しんでいました。今年の誕生日プレゼントは「絵本をいっぱいもらう!」と言ってくれて嬉しかったです
- ・大きな声であいさつをすると、そのあとの様子が(元気になる)見ていて面白くて、元気よく挨拶するだけで気持ちよくなり、パワーアップすることを改めて実感しました
- ・魚の骨が人間のどの部分の骨と同じか、産地からその土地の話題になり、興味が広がって いるようでした
- ・子ども→大人、大人→子ども だけでなく、子ども同士でもその日楽しかったことなどを 報告し合って、楽しそうだった
- ・思った事を素直に話してくれました。私は、ついつい携帯を見ながらお菓子を食べるくせがあって、娘から「お母さんの真似」と、同じことを見せてくれました。「下品だなあ」と、すごく反省しました。もっと子どもとたくさんお話しようと思いました

【小3】

- ・親子で過ごしている時間に、スキンシップを取りながら、目を見て子どもの話を聞いていくと嬉しそうな表情をしていた。やはり子どもの話を聞くことが大事だと思った。また、キャッチボールやお絵かき、学習など一緒のことに同じ目線で取り組むことは、子どもにとってうれしいことだと思った
- ・食事中にテレビを消したことで、だらだら食べることなく、片付けまでワンセットでできるようになった。何気ない会話が楽しく感じた。図書館に行こうと思い、久しぶりに行って嬉しそうだった。家族のつながりを大事にしたい気持ちを感じてくれたように思えた
- ・本を読むことで、知らなかったことが分かって嬉しそうでした。分かったことを、家族に 楽しそうに話してくれました
- ・今までも、挨拶はするように教えてきて出来ていたが、この強化期間中はさらに意識して はっきり大きな声で相手に聞こえるように心がけていた
- ・学校であったことや、本やテレビから得た情報を教えてくれました。教えてくれることで、 今興味がある事柄が把握でき、私が知っていることを教えて、お互いの知識が増えたよう な気もします
- ・朝食の準備を手伝ってくれるようになってきました
- ・朝学校に行く時に、今まではほとんど母にしか「行ってきます」を言わなかったけれど、 意識するようになってから、家にいる人全員に声をかけるようになった
- ・1日の出来事を、内容だけでなく、その時感じた気持ちまで伝え合うことができた
- ・夕食中、子どもたちが給食の話をしていた時に、親は食べられないと思っていたものも食べられることが分かり、びっくりしました
- ・幼稚園・低学年の頃は、ほぼ毎日親子で読書をしていたけれど、だんだん本を読む機会が なくなってきていました。今回の取り組みで、また読書の楽しさを思い出したようでした
- ・保育園の時は「○○になりたい」と夢があったが、最近は「何もない」と言われ、少し寂しい気持ちになった。今すぐ夢を見つけるというのは違うけど、「夢を持つと自分の目標ができるから自分を成長してくれるんだよ」と話し、子どもは「夢が見つかるといいな」と言ってくれた
- ・嫌いだった食べ物が、意外にも「おいしかったんだ!」ということが分かったようでした
- ・恒例になっていた TV の時間をやめてみると、意外なほど子どもから見たいと言わなかった。早く寝られることで、気持ちがゆったりとして、親としても注意することが減った
- ・天気もよく、機嫌もよかったです。おばあちゃんとは戦争の話もしていたようで、世代を 超えた会話を楽しんでいました
- ・両親ともに意識して「ただいま」「おかえり」などのあいさつを交わしていると、自然と 子どもたちも笑顔が増え、家族での会話も盛り上がったように感じた
- ・「お姉ちゃんすごいな」「OOのそういうところがステキ」など、お互いをほめる言葉をたくさん使っていた

【小5】

- ・友だちのことなど、最近の出来事をあまり話さなかったけれど、話してくれるようになり ました
- ・担当を決めることにより、がんばってくれるようになったが、それを優先してしまい、宿 題などが後回しになってしまうこともあった。しかし、お手伝いが増えた
- ・色んな食材や調理方法に興味を持って、たくさん質問をしてくれた。テレビでおいしそう

な料理をみたら、知らせてくれたり得た情報を教えてくれたりした

- ・学校や友だちの話をたくさんしてくれました。ニュースに興味を持つようになり、ニュース番組を見たり新聞を読んだりするようになった
- ・苦手なものを工夫して食べていた(小さくしてみたりしながら)
- ・なれない事でもやり続けることで、当たり前のように進んで出来るようになり、ほめることで、喜んで色々なことに挑戦しようというやる気が出てきた
- ・学年があがり、自分から取り組めることも増えてきた。今までなら「したくない」「誰かがするやろ」ということが多かったが、自分から「する!」「あれやりたい」などと進んでするようになった。大きな成長を感じました
- ・一日の出来事を丁寧に話してくれて、その時の自分の考えや感じたことも聴くことができました。また、話す時の表情や言葉数が日によって異なっていたので、そのことにより子どもの体調の変化も知ることができました
- ・料理、特に野菜を切るのは時間がかかりましたが、自分が食べるというより家族みんなが 食べると意識しながら丁寧に作っていました
- ・学校で嫌な事があっても、不満があっても、本人を責めず「うん、うん、それは嫌だね~」 と共感してあげることで、機嫌も良くなって顔つきも変わった
- ・少食ですが、いつもより多く食べられました。祖父母にもらった栗で栗きんとんを作り、 おいしかったので「栗ありがとう」「いつも野菜くれてありがとう」と伝えていました
- ・毎日忙しいので、あっというまに時間が過ぎてしまい、運動が後回しになってしまいますが、少しでも運動するようにがんばってました。(一緒に音楽をかけてダンスをしたり・・・)
- ・こちらからもどんどん質問していくので、友だちの事や勉強で頑張っていることなど、食べている手が止まるくらい、いつも以上に楽しく話してくれていました
- ・特にいつもと変わりなく、のびのび過ごしていました。卵焼きブームはまだしばらく続き そうで、今朝はすごくおいしいだし巻き卵を作ってくれました。しばらく、お兄ちゃんは 「お母さんの卵焼きと味が違うなぁ」と思いながらお弁当を食べていたそうで、弟が作っ ていたことを伝えたら、すごく弟をほめていました

[+2]

- ・共通の話題、学校での出来事、テレビを一緒に見ていての感想など、何でもいっぱいしゃべっています。幼い頃と変わらず、いつも夕食は誰かがしゃべっているような状態です。 学校から帰って来た時、玄関から聞こえてくる「ただいま」の声で、学校での一日の出来 事がだいたい分かるような気がします
- ・「合唱コンクールの歌のキーが高くて難しいけど、好きな歌なので嬉しい」と言っていま した。クラブの練習内容やお友だちの話もしてくれました
- ・子どもに話しかける時に、自分に余裕がないとどうしてもお互いピリピリした雰囲気になってしまうので、余裕を持って関わると、自分のタイミングで学校であったことなど、いろいろ話してくれました
- ・クラブで大会があり、優勝したので、メンバー同士がより仲良くなった
- ・読書タイムの時間前に、子どもの方から「一緒に本を読もう」と誘ってくれて嬉しかった です
- ・食後に、一緒にウォーキングをしました。ウォーキング中に、学校での出来事、部活動の ことなど、いろいろな会話ができました。今後も継続していきたいです。子どもの考えて いることや感じていることを知ることが出来、充実した時間を過ごせました
- ・日頃から行っている内容が多いので、特別意識している感じではなかったです。一つ嬉し

かったのは、我が家の雑巾は、古くなった衣服を利用します。それを使ってごみ箱に捨てる際「いままでありがとうな」「いろいろ思い出が出てくれるわ」と捨ててました。心が温かくなりました

- ・興味のある話題が出ると、自分の思っていることを次々に話してくれて、普段より会話が 増えました
- ・好き嫌いなく野菜を食べるように取り組んでいた。挨拶をすることで、メリハリがついているようだ
- ・強化期間ということもあってか、TV を消したり携帯の使用時間を決めたりしても、文句を言わず守ろうという気になったようです
- ・ 笑顔でいろいろな話をしてくれるようになった。 姉妹での会話もとても楽しそうにしていた。 食欲旺盛になった
- ・食事中 TV を消すことで、自然と会話が増えた。朝、時計代わりに TV をつけていたが、少し早めに朝食にすることで、ゆっくり時間が持てた
- ・部活終わりで疲れていても、二人で話し合って、家事を分担して手伝っていた

問7:「家族っていいな」と感じるのはどんな時ですか

【年長】

- ・病気になってる時に、心配して心の支えになってくれる
- ・夕ご飯だけはほぼ全員で一緒に食事をとるので、その時は今日の出来事を話します。みん なで共有して、会話をしたり笑ったりしている時にいいなと感じます
- ・家族みんなが集まると、なんだかすごく明るい気分になり、皆の顔を見ると、落ち着けて 充実感のようなものを味わえるような気持になるので、家族っていいなと思います
- ・子どものことを見ていると、親も幸せに感じる。楽しみを共有できる。何気ない日常に幸 せの発見がある
- ・子どもたちが、仕事で疲れている親に気遣って、マッサージをしてくれたり、大好きだよ と言ってくれたりした時
- ・何か困ったことがあった時、相談したり話し合ったり、一緒に解決できるのがいいなと感じます
- ・たわいもない会話で、喜び・悲しみ・言いたいことを言い合え、理解できる当たり前の日常がとっても幸せなんだな~と思います。何かあっても味方してくれるのも家族で、全ての事が家族っていいな~と思いました
- ・土日に庭や家の中でのんびり過ごす時間が宝物です。自分もゆっくりしていると、普段気 づかない子どもの成長に気づきます
- ・家族全員がそろって食卓を囲んでいる時
- ・何か一緒に取り組んだり遊んだりする中で、同じ気持ちを共有できることは嬉しいです。 いろいろなことを話しながら、一緒に過ごす時間を大切にしたいです
- ・同じ話題で話して笑ったり、みんなでそろってご飯が食べられたりすることなど、同じ部 屋・空間にいられることが幸せだなと思います
- ・子どもの成長とともに大人も成長できる。同じ経験を積み重ねて、思い出がたくさんできることが幸せです
- ・兄妹が仲良く遊んでいる時はもちろん、喧嘩してもすぐ仲直りをして仲良く遊んでいる姿を見て幸せだな一と思えたりします。そんな瞬間がたまらなく好きです。正直、子どもが そんなに得意ではなかった私がそう思うので、きっと家族っていいものなんだろうなーと

ふとした時に思います

- ・家族みんながそろうことで家の中が明るくなること。常に家中車内で歌声がしています。 面白い会話が飛び交います。もし一人だったらそんなことはなかっただろうなぁ・・・と 毎日楽しませてもらっています
- ・とにかく家族でそろっている時。皆健康で、元気で家族がそろっていることが幸せだと感じています。今年はコロナや家族の怪我・入院もあったため、それが落ち着いた今、特に そう感じます
- ・家に帰って来て、家族の顔を見るとほっとする
- ・自分が親になり、自分の親に感謝したり尊敬の気持ちが増したりする時

【小3】

- ・子どもや主人の顔を見て、声を聞いて、話ができるという当たり前のことが幸せで、家族 になれて良かったと感じています
- ・休みの日に、庭で過ごす時間が宝物です。パパは芝の手入れ。子どもたちは鬼ごっこやサッカー。母はお花の手入れ。なんてことない時間が大切です
- ・いつも近くにいてくれて、思ったことを言い合える仲。子どもたちが自分の取り合いをして喧嘩したり、毎日必ずお母さん大好きと言ってくれたりする、ありがたい時期
- ・楽しい時も、つらい時も、隣をみれば家族がいて、それだけで幸せだなと思える時
- ・一緒に笑って、一緒にご飯食べて、一緒に遊んで、楽しいことも嫌なことも一緒に共有で きること
- ・一週間に週末しか家族で食卓を囲む日がないので、週末はワイワイ話しながらご飯を食べて、みんなで準備して、みんなで片づけて、やっぱり家族そろっていることがいいなって思います
- ・キャンプをしている時です。テントなど設営する時に、前回より手伝ってくれることも多く、子どもの成長を感じます。スマホを見ることもなく、TV やゲームもない野外での活動なので、会話も増えます。一つのテーブルで美味しいものを食べ、狭いテントでみんなで寝ると、家族の良さを再確認できます
- ・こたつで、みんながみかんを食べたり、話しながらお鍋を食べたりする時。心も体もあったまる。ホッとする
- ・嬉しい事や楽しい事、悔しい事や嫌なことも、家族に話して分かち合うことで、もっと楽 しくなったり前向きになれたりする時に、家族のありがたみを感じます
- ・誰かが困っていると、みんなで悩み、解決方法を探る。支え合っていると感じた時
- ・家族でご飯を食べたり公園で遊んだりと、何でもない時間を楽しく一緒に過ごせている時 いいなと思う
- ・みんながそろうとにぎやかで、皆楽しそうにしている時や帰ってくると、「やっぱり家っていいな」と思うところです
- ・子どもが元気に学校へ行く姿を見送る時、帰ってくる姿を見られるとき、普段の生活が送れていると感じる時です
- ・何気ない時間がいいです。ストレス社会の中でいると疲れますが、家にいる時はリラック スできるので家族大好きです
- ・喧嘩しても何があっても同じ家に帰ってくる。切っても切れない「縁」があるんだなと。 そのうち謝ったりゆるしたり又仲良くなって。友だちや社会では経験できないものだなと。 家族の大切さを感じた
- ・友だちや会社の人と会う時は約束して会うが、それがなくても、いつもいられること、話

せること

【小5】

- ・お互いに助け合い、支え合える。つらいことや悲しいことがあったら共有し合える。いろいるな意見がもらえる。1つの小さな会社のようにも思える。絶対的な安心感があるからこそ何でも言い合える
- 一緒にいて話をする、食事をする。並んで寝る。ありきたりの事ではあるが、この普通である事がいいと思っている
- ・子どもの成長を感じて、夢に向かって頑張る子どもを、みんなが同じ思いで向き合えて、 会話が増え笑顔になること
- ・一緒に料理をしたり、ゲームをしたり、本を読んだ感想を言い合ったり一緒になって楽しめたり笑ったりするとき
- ・おいしいものを、家族みんなが笑顔で食べている時「幸せだな」って感じます
- ・家族全員が、一人一人感謝しているところ。言葉では伝えなくても、行動で分かるところ が、信頼して強い糸で結ばれていると感じるところ
- ・共通の話題がなくても、自然と会話が生まれる時
- ・特に何かするでもなく、楽しく家族で時間を共有している時
- ・目標に向かい、家族がそれぞれ役割を持ち、協力している時
- ・いろいろな困難にぶつかった時、親子で悩みながらも困難を克服する努力を一緒に出来る こと。そして、困難を克服できた時
- ・お話したり食事をしたり当たり前の日常の中で、笑ったり、時には真剣に話し合ったりと、 一緒に過ごせるときにいいなと感じます
- ・子どもが、今まで出来なかったこと(しようとしなかった事)ができるようになったり、 自分の考えをしっかりと話してくれたり、そういった成長を感じる時
- ・仕事を終えて、家に帰れば子どもがいてくれる。家でごろごろしていても、そこにいてくれているだけで嬉しいです。元気に過ごしてくれているんだなと感じられれば幸せです。 特別何かが起きなくても、存在がありがたいです。頑張る原動力が家族なので、心のパワーになっていることが「家族っていいな」と感じることかなと思います
- ・体調が悪く、1か月ほど寝込んでしまった時、みんなで協力して家事をしてくれました。 文句一つ言わず、食事や洗濯などしてくれた時
- ・子どもたちが、親がしていることを自然にまねて、自主的に何かをしてくれるときなど、 いろんな場面で感じます
- ・同じ空間にいるけれど、それぞれが違うことをしていても、それが普通で心地よく感じる

【中2】

- ・家族で食事をし、会話をしながらみんなで笑っている時です。仕事の疲れもふっとびます
- ・家族の中で、悩みや心配事を相談した時に、みんなで解決しようと、相手の立場を考えながら話し合ってくれる時です
- ・家族皆、心身とも健康で過ごせる日々
- ・家族がいるから自分もがんばれる。誰一人欠けてはいけない。一緒に笑ったり、泣いたり、 怒ったり、共有できる
- ・兄が弟に勉強を教えてくれているところを見るとほっこりする
- ・どんな事があっても、自分には帰る場所があって、そこには家族がいる
- ・相手のいつもと違う様子があった時に、「どうしたんだろう?」「大丈夫なか?」と心配す

- る気持ちや、優しくおもしろく声をかける姿もあり、みんなが笑顔で話ができる時
- ・良い事も、残念な事も、ちょっとした事でも会話にできて楽しく過ごせる時。また、その 中で、子どもが成長したなあと思えた時
- ・みんな漫画が好きなので、好きなキャラクターの話をしたり、一緒にごはんを食べて「おいしい」と味について話したり、なんでもないことを当たり前のように会話できる時。家は自然体で過ごせる場であることが幸せです
- ・ストレスの吐き出し口だったり、支え合ったり、笑い合ったり、協力し合ったり、励まし合ったりと、生きていく上では悩むことや恥ずかしい出来事や悲しい事、無気力になってしまう時など色々ありますが、どんなことがあっても裏切らず温かいものです。家に帰って来て、それぞれ顔を見た時に「家族っていいな」と思います
- ・家に帰ってきた時、誰かがいてくれると嬉しい。家族全員がそろうとなぜか笑顔になる空間
- ・友だちや学校での悩みを相談することができて、色んなアドバイスを親や兄弟から聞くことで、解決の糸口が見つかったり少し安心できたりする時間が持てた時
- ・家族そろって食事をしたり、買い物に行ったり、テレビや映画を見て感動したりする時、 夫婦円満で姉妹も仲良くしている時に、「家族っていいな」と思います
- 家族はいてくれるだけで幸せです
- ・お菓子作りをしたリ、サイクリングに出かけたり、成長に合わせていろいろな事を一緒に 体験できたりすること
- ・疲れている時、子どもの笑顔を見るといやされます。そんな時、「家族っていいな」と思 います
- ・夕食を家族そろって食べている時に、学校であったことを話すのを聞くと、家族のあった かさを感じます。特別なことをするわけではないですが、毎日のふとした会話がいいなと 思います

「かめやまお茶の間 1 0 選 (実践)」強化週間 2020 アンケート集計 まとめ

1. 【回収率と取組率】

アンケートは、19 の幼稚園・保育園・認定こども園の年長児の保護者、11 の小学校3年生・5年生の保護者、3 つの中学校2年生の保護者に配付しました。兄弟・姉妹関係で、重複しているものも含め、全1858枚配布し、回答数は丁度1400枚でした(回収率75.35%)。中学2年がやや低かったものの、後は8割前後ですので、高い回収率と言えます。

また、問1「『かめやまお茶の間10選(実践)』に取り組みましたか」では、③「どちらかというと取り組まなかった」と回答した人や⑤無回答の場合でも、問2「どのテーマに取り組みましたか」では、ほとんどの場合、いずれかに〇を付けており、何も〇がついていないのは338枚でしたので、何らかのテーマで取り組んだのは1062枚(75.86%)です。このことから、未提出分も含め、全体では約6割程度の取組率と推察できます。

【アンケート:抽出項目から】

問1「『かめやまお茶の間10選(実践)』に取り組みましたか」

・全体として、各学年の①「取り組んだ」、②「どちらかというと取り組んだ」、③ 「どちらかというと取り組まなかった」、④「取り組まなかった」の回答率にばら つきが見られました。

問2「どのテーマに取り組みましたか」(複数回答可)

- ・①「あいさつは家族をつなぐ合言葉」と⑦「しっかり食べてつくろうカラダ」の2つが、全ての学年で30%を超える回答率でした。
- ・②「豊かな体験 豊かな心 家族の経験」や③「夢への一歩 家族の力」などは低い回答率でした。一概には言い切れませんが、取り組みやすい項目や取り組んだことが評価しやすい項目があるのかもしれません。
- ・②「豊かな体験 豊かな心 家族の経験」、④「テレビオフ 会話はオンで一家だんらん」、⑥「本開く こころを紡ぐ この出会い」の3項目は、学年が上がるにつれ、回答率が低くなっています。

間4「取り組んで良かったことは何ですか」(複数回答可)

- ・①「あいさつが増えた」では、小学5年の回答率が低かった一方、中学2年の回答率 が高い結果でした。
- ・④「運動する時間が増えた」では、学年が上がるにつれ、回答率が低くなっています。 これは、帰宅時刻とも関係していると思われます。
- ・⑥「読書の時間が増えた」では、小さい学年(特に年長)の回答率が高く、これは、 保護者が意識して読み聞かせに取り組んだ結果の表れだと思われます。

問5「強化期間中、話題になったことはどんなことですか」(複数回答可)

- ・③「学校のこと」、④「勉強のこと」、⑦「テレビや新聞のこと」の3項目は、年長に比べ、小中学生(特に中学生)の回答率高い一方、⑤「友だちのこと」は、学年が上がるにつれ、回答率が低くなっており、発達段階を反映したと思われる結果でした。
- ・②「地域のこと」がどの学年も回答率が低いのは、コロナ禍の中、イベントが中止になったり、外出を控えたりしたことも要因の一つだと考えられます。

【アンケート:自由記述項目から】

問3「取り組んだ内容を具体的にお答えください」

「あいさつにはどんなものがあるか話し合った」や「野菜にはどんな栄養・効能があるか家族で考えた」等、取り組むことの意義を再確認したり、「当番表を作った」や「読書タイムを設けた」等、新たなルールを家族で共有したりしながら取り組んだ事例がありました。また、「目を見て話すのを心がけた」や「季節の食材を使った料理を作った」等、保護者自身が率先して取り組んだ事例もありました。

問6「強化期間中のお子様はどんな様子でしたか」

「普段と変わらず」の記述もありましたが、多くは、「お手伝いが増えた」や「時計を見ながら行動できるようになった」等、意識して取り組んでいる様子や「家族の時間が増えて嬉しそう」等、家族みんなで取り組むことで、良い効果が現れている様子が伺えました。また、子どもの様子を見て、「嬉しかった」や「反省しました」等、保護者自身の気づきにつながったという記述もありました。

問7「『家族っていいな。』と感じるのはどんな時ですかし

家族と一緒に何かをしたり、病気や困った時に助けてくれたりした時はもちろん、「家族で時間を共有している時」や存在がありがたい」という記述が多くありました。また、「自分が親になり、自分の親への感謝や尊敬の気持ちが増した」という記述もありました。

【全体を通して】

1週間の取組でしたが、高い回収率と取組率であったばかりでなく、問2~問7まで、いずれも複数回答や複数の記述がほとんどであったことから、多くの保護者が強化週間を意識しながら積極的に取り組まれたと推察できます。また、問4「取り組んで良かったことは何ですか」では、①「あいさつが増えた」や②「家族との会話が増えた」、⑧好き嫌いをせずに食事ができた」等、どの学年からもたくさんの「良かったこと」の回答があり、強化週間の取組は、一定の成果をあげることができたと考えられます。

お取り組みいただいた保護者の皆様をはじめ、ご協力いただいた園・学校関係者の皆様に、 深く感謝申し上げます。